

第12回大気化学シンポジウムプログラム

2001.11.22現在

12月3日(月) - 5日(水)、ホテル日航豊橋

(20分講演:発表15分 + 討論5分、40分講演:発表30分 + 討論10分)

成層圏特別セッション

12月3日(月)午前

座長:河本 望(NASDA/EORC)

10:00	10:20	20	岩尾 航希、廣岡俊彦(九大院理)	初冬にヨーロッパ北部で見られるオゾン減少と等温位面の変動
10:20	10:40	20	山崎郁夫、中川和道(神戸大院総合人間科学)、中根英昭(国立環境研)	後方流跡線と渦位解析を組み合わせた手法による成層圏オゾン変動の解析
10:40	11:00	20	シンジャワ(東大院理)、巻出義紘(東大アイソトープ総セ)、中根英昭(国立環境研)、青木周司(東北大院理)、中澤高清(東北大院理)、神沢 博(国立環境研)、笹野泰弘(国立環境研)	1997年5月三陸大気球およびILASによって観測された極渦由来気塊の渦位/トラジェクトリー解析

11:00 11:20 20

休憩

座長:中根英昭(国立環境研)

11:20	11:40	20	富川 喜弘(東大院理)、佐藤 薫(極地研)	極渦境界領域の捕捉波
11:40	12:00	20	河本 望(NASDA/EORC)、神沢 博(環境研)、塩谷雅人(京大・宙空電波)	ILAS データにもとづく下降速度の見積もり
12:00	12:20	20	秋吉英治(国立環境研)、黒川純一(富士通FIP)、菅田誠治、杉田考史、中島英彰、林寛生(国立環境研)、高橋正明(東大CCSR)	CCSR/NIES 成層圏ナッジング化学輸送モデルによってシミュレートされた1997年北極渦崩壊後の低濃度N ₂ O空気の挙動
12:20	12:40	20	杉田考史、秋吉英治、中島英彰、林寛生(国立環境研)	ILASで観測された初夏の北半球中高緯度成層圏におけるオゾンの挙動

12:40 13:50 70

昼休み

12月3日(月)午後

座長:林田佐智子(奈良女子大理)

13:50	14:30	40	招待講演: 小寺邦彦(気象研)	太陽周期に対する成層圏の応答
14:30	15:10	40	招待講演: 神沢 博(国立環境研)	成層圏水蒸気の分布と長期変動

15:10 15:30 20

休憩

座長:小寺邦彦(気象研)

15:30	15:50	20	香川晶子、河瀬祥子(奈良女子大院)、林田佐智子(奈良女子大理)	化学ボックスモデルを用いた1997年冬/春季北極域オゾン破壊の考察
-------	-------	----	---------------------------------	-----------------------------------

15:50	16:10	20	中根英昭、Alexander Lukyanov (国立環境研)、Vladimir Yushkov (CAO)	ECMWF鉛直風を用いた成層圏光化学ボックスモデル - 北極域におけるオゾン破壊についての観測との比較
16:10	16:30	20	関山 剛、千葉長、柴田清孝、折戸光太郎、田中泰宙 (気象研)、佐々木徹 (気象庁)	MRIオンライン化学輸送モデルによる成層圏及び中間圏微量化学成分シミュレーション
16:30	16:50	20	桑原徹也 (名大院理)、田中浩 (名大院環境学)	名古屋上空のオゾン関連大気微量成分の周期性について ~ FTIRを用いた大気微量成分の観測より ~

12月4日(火)午前

座長: 渡辺征春(NASDA/EORC)

9:00	9:20	20	林田佐智子(奈良女子大理)、堀川真理子(富士通FIP)	成層圏エアロゾルの長期変動
9:20	9:40	20	渡辺征春(NASDA/EORC)、柴田隆、岩坂泰信(名古屋大院環境)、林政彦(福岡大理)	光散乱式粒子計数器で観測された北極成層圏エアロゾルの特性
9:40	10:00	20	齋藤 尚子(奈良女子大院)、林田 佐智子(奈良女子大理)、笹野 泰弘(国立環境研)	衛星データを用いた北極および南極初期PSCsの形成過程とその組成について
10:00	10:20	20	佐藤 優、瀬戸口修(産総研)	極成層圏雲候補物質フィルムの赤外スペクトル: 硝酸水溶液及びNADの場合

休憩

座長: 笠井康子(通総研)

10:40	11:00	20	村田 功、小林展隆、福西浩(東北大院理)、中根英昭(国立環境研)	SF12を用いた赤外分光観測からの大気微量成分高度分布の導出
11:00	11:20	20	関浩二、笠井康子、村山泰啓、水谷耕平(通総研)	赤外吸収スペクトルからのオゾン高度プロファイルの導出とポーカーフラット(65N,147W)におけるオゾンの季節変動
11:20	11:40	20	福井康雄、水野 亮、大西利和、水野範和(名大院理)、小川英夫、米倉覚則、浅山信一郎(大阪府大)、中根英昭、秋吉英治、長浜智生(国立環境研)、岩坂泰信、柴田 隆(名大院環境)、森平淳志(富士通VLSI)	南米チリにおけるClO鉛直分布のミリ波分光観測
11:40	12:00	20	千葉 長、柴田清孝、関山剛、折戸光太郎、田中泰宙(気象研)、佐々木徹(気象庁)	気象研究所におけるオゾンモデル及び同化システムの開発計画

12:00 13:10 70

昼休み

一般口頭講演

12月4日(火)午後

座長: 金谷有剛(地球フロンティア)

13:10	13:30	20	北 和之、近藤 豊(東大先端研)、小池 真(東大院理)、竹川暢之(名大STE研)、池田響、宮崎雄三、石川善徳、入江仁士(東大先端研)、柏原拓史(東大院理)ほかTRACE-Pサイエン チーム	TRACE-Pで観測された春季太平洋上での窒素酸化物の分布と構成
-------	-------	----	--	----------------------------------

13:30	13:50	20	池田 響、近藤 豊(東大先端研)、小池 真(東大院理)、北 和之(東大先端研)、竹川暢之(名大STE研)、川上修司、小川利紘(NASDA/EORC)、BIBLE-Cサイエンスチーム	オーストラリアにおける窒素酸化物分布	
13:50	14:10	20	柏原 拓史(名大院理)、小池真(東大院理)、近藤豊、北 和之(東大先端研)、川上修司(NASDA/EORC)、西 憲敬(京大院理)、河崎善一郎(阪大院工)、竹川暢之(名大STE研)、宮崎雄三、池田響、入江仁士、石川善徳(東大先端研)ほかBIBLEサイエンスチーム	熱帯上部対流圏において雷によって生成された窒素酸化物の定量評価 ~ BIBLE-C ~	
14:10	14:30	20	休憩		
			座長: 竹川暢之(名大STE研)		
14:30	14:50	20	高島 久洋(北大院地球環境)、塩谷 雅人(京都大学宙空電波セ)	SHADOZ オゾンゾンデデータを用いた熱帯対流圏オゾン分布を決める諸過程に関する研究	
14:50	15:10	20	須藤 健悟(東大院理)、高橋正明(東大気候セ)、近藤 豊(東大先端研)、秋元肇(地球フロンティア)	全球光化学モデル CHASER -- 非メタン炭化水素/不均一反応のインパクト: 3次元および0次元ボックスモデルによる検証	
15:10	15:30	20	北田敏廣、稲垣亮太、高橋友和(豊橋技科大)、西沢匡人(原研)、近藤 豊(東大先端研)	インドネシア付近のオゾン生成、バイオマス火災とライティングの効果ー全球化学輸送モデルによる試算ー	
15:30	15:50	20	長田和雄、西田千春・猪股弥生・井野宮裕樹・松永捷司・柴田隆・岩坂泰信(名大院環境学)・木戸瑞佳(水博)	乗鞍岳におけるオゾンと大気エアロゾルの観測	

山のコーナー紹介

15:50 18:20 150 **ポスターセッション(全ポスター掲示)**

18:20	19:00	40	大気化学研究会 会員総会	会員以外の傍聴歓迎
19:00			懇親会(有料会費)	

12月5日(水)午前

座長: 長田和雄(名大環境学)

9:00	9:20	20	植松光夫(東大海洋研/CREST)、鈴木隆生(科技団)、紀本岳志(紀本電子)、千賀康宏(東海大海洋)	無人海洋大気観測艇による伊豆諸島周辺海域の大気成分測定ー三宅島の噴煙を横切ってー
9:20	9:40	20	笹川基樹、植松光夫(東大海洋研)	北西部北太平洋における海霧発生時のエアロゾル粒径変化と霧水中イオン成分の特徴
9:40	10:00	20	大木淳之(東大院理)、植松光夫(東大海洋研)	黄砂時における鉱物粒子表面での硝酸塩の吸着現象 - 2001年3月の淡青丸 航海結果報告
10:00	10:20	20	Zifa Wang(地球フロンティア)、Itsushi Uno(地球フロンティア、九大応用力学研)、Sunling Gong(Atmospheric Environment Service)、Meigen Zhang、Hajime Akimoto(地球フロンティア)	Simulating Size-segregated Soil Dust, Sea-Salt, Black-carbon and Sulfate Aerosols Over East Asia in Spring 2001

10:20 10:40 20 **休憩**

座長：古賀聖治(産総研)

10:40	11:00	20	財前祐二、岡田菊夫、澤庸介、池上三和子、牧野行雄(気象研)	北西太平洋上空のエアロゾル粒径分布の特徴
11:00	11:20	20	鈴木 款、中島 賢邦(静大理)	新たなCO ₂ シンクの可能性としての黒色炭素粒子の評価
11:20	11:40	20	河村公隆、持田陸宏、梅本延彦(北大低温研)、Steve Howell, Barry Huebert(ハワイ大学)	航空機(C-130)で採取されたエアロゾル試料中の水溶性有機物の分布
11:40	12:00	20	松永壮、持田陸宏、小林実、坪沼宣行、河村公隆(北大低温研)	森林におけるイソプレン分解生成物と直鎖アルデヒドの生成と粒子相への移行

12:00 13:10 70

昼休み

12月5日(水)午後

座長：梶井克純(東大先端研)

13:10	13:30	20	佐藤圭、Bjorn Klotz、畠山史郎、今村隆史(国立環境研)、鷺巣祐己、松見豊(名大STE研)	トルエン光酸化のエアロゾル生成過程におけるオゾン反応の重要性
13:30	13:50	20	今村隆史(国立環境研)	硫酸エアロゾルへのギ酸の取り込み過程
13:50	14:10	20	高橋けんし、林信介、中山智喜、松見豊(名大STE研、名大院理)	オゾンの紫外光分解におけるO(1D)生成量子収率の高精度絶対値測定とその大気化学モデルへの影響
14:10	14:30	20	齋藤修二、荒木光典、新川浩司(福井大学遠赤外セ)	高層大気微量成分分子のスペクトル線幅測定法の開発：O ₂ 、ClO ₂ への適用

14:30 14:50 20

休憩

座長：川上修司(NASDA/EORC)

14:50	15:10	20	堤 之智、赤木万哲、國松洋、岸伸恵、吉田雅司、牧野行雄(気象庁)	1998年夏から秋にかけてのシベリア森林火災の大気環境観測所(岩手県)での影響について
15:10	15:30	20	齊藤伸治(名大院理)、永尾一平、田中 浩(名大院環境学)	都市および周辺沿岸域におけるオゾンとオゾン前駆物質の関係
15:30	15:50	20	宮谷真由子、福山薫、SANGA-NGOIE Kazadi(三重大生物資源)、木村郁彦(株センサーテック)岩嶋樹也(京大学防災研)、村松久史(名城大理工)、寺尾徹(大阪学院大情報)	伊勢湾周辺海域における海水溶存メタン濃度の測定

15:50 18:20 150

ポスターセッション(全ポスター掲示)

ポスターセッションプログラム

全てのポスターを12月4日(火)5日(水)の両日のポスターセッションで掲示

P1	阿部圭恵(東京農工大農)、高橋 宙(東京管区気象台)、吉川哲生、駒田強、鈴木一成、土器屋由紀子(東京農工大農)、五十嵐康人、直江寛明(気象研)	富士山頂の春～夏の降水の化学成分について	ポスター (山のコーナー)
P2	西田千春、長田和雄・猪股弥生・井野宮裕樹・松永捷司・柴田隆・岩坂泰信(名大院環境学)・木戸瑞佳(水博)	乗鞍岳における大気エアロゾル粒子の粒径分布 -2001年夏秋の観測結果について-	ポスター (山のコーナー)
P3	坂根基文、鈴木一成(東京農工大農)、畠山史郎(国立環境研)、五十嵐康人、直江寛明(気象研)、土器屋由紀子(東京農工大農)	富士山頂における夏季の過酸化物質濃度について	ポスター (山のコーナー)
P4	苗村晶彦、吉川哲生、佐藤敬一、土器屋由紀子(東京農工大農)	山間域および都市近郊の丘陵地における酸性沈着	ポスター (山のコーナー)
P5	吉岡勝廣(島根県保健環境研)	乗鞍岳の大気中ラドン濃度の連続観測	ポスター (山のコーナー)
P6	吉川哲生(東京農工大農)、五十嵐康人、堤之智、澤庸介、直江寛明、関山剛、時枝隆之、岡田菊夫(気象研)、林和彦、立石貴広、秋広(大塚)道子、塩水流洋樹(気象大学校)、木戸瑞佳、米倉寛人、村上健太郎、吉川哲生、駒田強、鈴木一成、苗村晶彦、阿部圭恵、尾近茂、坂根基文、下村紘子、百武剛、藤川恭司、土器屋由紀子(東京農工大・農)	富士山頂夏季大気化学観測1997-2001	ポスター (山のコーナー)
P7	中島賢邦、鈴木 款、夏目 崇匡、森田 理絵(静岡大理)、太田良 和弘(静岡県環境衛生研)	山岳域における炭素質エアロゾルの時系列分布	
P8	古賀聖治、兼保直樹(産総研)	小笠原父島におけるエアロゾル粒子数濃度と元素状炭素濃度の変動	
P9	三浦和彦(東理大理)、児島 紘(東理大理工)植松光夫(東大海洋研)加藤俊吾・梶井克純(科技団・東大先端研)	大気エアロゾルの粒径別平均寿命	
P10	宇井剛史(東大院理)、大木淳之、植松光夫(東大海洋研)	黄砂時におけるエアロゾル微量元素の特徴 - 2001年3月の淡青丸 航海結果報告	
P11	鷺巣祐己、重森博之、高橋けんし、松見豊(名大STE研、名大院理)	レーザーイオン化質量分析法を用いたエアロゾル個別粒子分析装置の開発とその評価	
P12	五十嵐 康人、青山道夫、広瀬勝己、根本和宏(気象研)	人工放射能は風送ダストのトレーサーとして使えるか?	
P13	檀田佳波、高橋けんし、松見豊(名大STE研、名大院理)	塩素原子とアルカンとの反応過程	
P14	飯田裕美、小尾欣一(日本女大)、今村隆史(環境研)	メチルブテンオール類のOHラジカル反応速度	
P15	長谷郁枝、中川和道(神戸大院人間環境)、佐藤圭、畠山史郎、今村隆史(国立環境研)	メチルブテンオールの光酸化過程の大気質への影響	
P16	瀬戸口修、佐藤優(産総研)	低級アルコキシラジカルと酸素分子の反応速度定数の理論計算	
P17	高見昭憲(国立環境研)、幸田清一郎(東大院工)	気相化学種の液相への吸収における共存物質の影響	

P18	Yukio Nakano*, John Hoard**, Rajesh Dorai***, Timothy J.Wallington**, Masahiro Kawasaki*, Mark J. Kushner*** (* Department ofMolecular Engineering, Kyoto University, ** Ford Motor Company, SRL, ***University of Illinois)	Identification of products of nonthermal plasma in a simplified exhaust gas mixture
P19	山岸忠義、江波進一、橋本訓、中道真司、中野幸夫、川崎昌博 (京都大院工)	オゾンChappuis帯吸収におけるキャピティリングダウン分光
P20	青柳 睦(分子研)、橋本健朗(都立大理)・近藤紗登美(都立大理)・左部顕芳(都立大理)・大極光太(都立大理)・三浦信明(科技団)・南部伸孝(岡機構)・岡田一俊(分子研)・橋本智裕(岐阜大地域科学)・菅原道彦(慶大理工)・藪下聡(慶大理工)・岩田未広(学位授与機構)	分子科学計算による大気環境分子研究用オンデマンドシステム
P21	小林博和(電力中央研)	ライン・ミキシングを考慮したフーリエ変換方式ライン・バイ・ライン計算
P22	矢澤健司(航空宇宙研)、田丸 卓(電力中研)、橋口浩之(京大宙空電波セ)	超音波風速計の開発と大気観測
P23	池内和泉、古橋規尊(富士通FIP)、中根英昭、向井人史、勝本正之、藤沼康実(国立環境研)	トラジェクトリ解析における三次元型モデル導入の検討
P24	河瀬祥子、香川晶子(奈良女子大院)、林田佐智子(奈良女子大理)	成層圏大気微量成分の分布 ~ 化学ボックスモデルと流跡線を用いて~
P25	蜷川雅晴、高橋正明(東大気候システム)、長谷部文雄(茨城大理)、滝川雅之(地球フロンティア)	成層圏準2年周期振動に対する火山性エアロゾルの効果
P26	加藤俊吾(科技団、東大先端研)、パクボン ポチャナート(地球フロンティア)、秋元肇(地球フロンティア)、梶井克純(東大先端研)	タイでの炭化水素の測定
P27	張 美根 (Meigen Zhang) (地球フロンティア)	Numerical study of tropospheric ozone during TRACE-P and ACE-Asia campaigns
P28	小池真(東大院理)、近藤 豊、北和之(東大先端研)、竹川暢之(名大STE研)、升井幸男、宮崎雄三、池田響、入江仁士(東大先端研)ほかTRACE-Pサイエンスチーム	春期西太平洋域のエアロゾルの分布と気体成分との関係: TRACE-P航空機観測
P29	石川善徳(東大院理)、近藤豊(東大先端研) 小池真(東大院理) 北和之(東大先端研) 竹川暢之(名大STE研) 宮崎雄三、池田響、入江仁士(東大先端研)、柏原拓史(東大院理)ほかTRACE-Pサイエンスチーム	東南アジアにおけるバイオマス燃焼の大気化学への影響評価 ~ TRACE-Pデータ解析より~
P30	宮崎 雄三、近藤豊(東大先端研)、小池真(東大院理)、北和之(東大先端研)、竹川暢之(名大STE研)、池田響(東大先端研) TRACE-Pサイエンスチーム	東アジア域における対流圏微量成分の総観規模輸送 ~ TRACE-P航空機観測 ~
P31	粕谷 俊暢(名大院理)、近藤豊(東大先端研)、小池真(東大院理)、竹川暢之(名大STE研)、入江仁士(名大STE研)	上部対流圏の氷粒子への硝酸の取り込み

P32	川上修司(NASDA/EORC)、近藤豊、北和之(東大先端研)、B. Liley(NIWA Research Ltd.)、小池真(東大院理)、小川利紘(NASDA/EORC)	BIBLE期間中の航空機用露点計を用いた対流圏および下部成層圏の水蒸気測定
P33	金谷 有剛(地球フロンティア)、横内陽子、谷本浩志(国立環境研)、中村憲司、松本淳、加藤俊吾(東大先端研)、古谷浩志(科技団)、井上武治郎、橋本茂、駒崎雄一、田中茂(慶應理工)、豊田賢二郎、秋元肇(地球フロンティア)	利尻観測から得られた大気中ヨウ素類反応の証拠と総合検証
P34	松本 淳、梶井克純(科技団、東大先端研)	海洋大気中のNO/NO2光化学定常状態の検討
P35	鈴木勝久、中村真希子、宮脇淳子(横国大院環境情報)	陸別、母子里で観測された大気微量成分全量の観測精度について
P36	横内陽子、犬塚洋子(国立環境研)、矢澤健司、稲垣敏治(航空宇宙研)、田丸卓(電力中央研)	相模湾上空におけるハロカーボン類の鉛直分布と季節変動
P37	石川 博司、福山薫(三重大生物資源)	濃尾平野周辺のメタン濃度変動と土地利用
P38	工藤新吾、角皆 潤、蒲生 俊敬(北大院理)、中澤高清、青木周司(東北大院理)、本田秀之(宇宙研)	日本上空成層圏二酸化炭素中酸素、炭素の安定同位対比測定とこの経年変化
P39	占部太郎(東工大院総理工)、豊田栄、吉田尚弘(東工大院総理工、科技団)、中澤高清、青木周司(東北大院理)、本田秀之(宇宙研)	成層圏のN2Oの消滅過程;アイソトプマーによる解析
P40	白井知子(NASDA/EORC、東大RIセンター)、巻出義紘(東大RIセンター)、青木周司、中澤高清(東北大学)、菅原敏(宮城教育大学)、町田敏暢(環境研)、橋田元、森本真司、山内恭(極地研)、本田秀之(宇宙研)	成層圏における大気中微量ハロカーボン類の分布
P41	濱村翠、香川晶子、林田佐智子(奈良女子大)、笹野泰弘(国立環境研)	衛星データを用いた極域成層圏のOHの見積り
P42	新村和也、大島道生、田中洋成、吉川努(三重大工)、ILAS-Science team	極域成層圏におけるオゾン・水蒸気光化学反応の研究
P43	深堀正志、青木忠生(気象研)、渡辺猛(東レリサーチセンター)	ILAS-IIチャンネル2領域におけるCH4、N2O及びCO2の吸収線パラメータ
P44	渡辺猛、長澤佳克(株東レリサーチセンター)、佐保良次、森山正人(日本サマルエンジニアリング株)、森田健((有)テック・ワールド)、樋渡史子(株システムズエンジニアリング)松見豊(名大STE研)、中島英彰、横田達也(国立環境研)	ガス吸収パラメータ測定用低温多重反射セルの製作
P45	大朝 由美子、近藤賀代子、市沢俊介、辻丸詔、川上修司、鈴木睦、小川利紘、下田陽久(宇宙開発事業団)	再解析したIMGスペクトルの評価
P46	近藤賀代子、大朝由美子、市沢俊介、辻丸詔、川上修司、鈴木睦、小川利紘、下田陽久(宇宙開発事業団)	IMGの再解析
P47	鈴木 睦、佐野 琢己、渡辺征春、柴崎和夫、小川利紘(宇宙開発事業団)	GCOM-A1計画の進捗状況

P48	川島高弘、久世暁彦、森重隆、谷井純 (NTspace)、小川利紘、鈴木睦、柴崎和夫、佐野琢己 (NASDA/EORC)	GCOM - A1衛星搭載用ODUS分光計の開発
P49	渡辺征春、鈴木睦、佐野琢己、柴崎和夫、小川利紘 (NASDA/EORC)、久世暁彦、川島高弘 (日本電気)	衛星搭載紫外分光器 ODUS による二酸化硫黄観測の感度解析
P50	奥村真一郎、川上修司、吉田重臣、佐野琢己、鈴木睦、小川利紘 (宇宙開発事業団)	航空機搭載用紫外線分光器「Airborne-ODUS」の開発
P51	瀬田益道、増子治信、真鍋武嗣 (CRL) 稲谷順司、尾関博之、菊池健一、佐藤亮太、西堀俊幸、藤井泰範、三浦健史 (NASDA)、JEM/SMILESミッションチーム (CRL,NASDA)	JEM/SMILES用640GHzSIS受信機の開発状況
P52	落合 啓、笠井康子(通総研)、高橋千賀子(富士通FIP)、辻丸 詔(NASDA)、JEM/SMILESミッションチーム (CRL,NASDA)	JEM/SMILESによる成層圏オゾン観測の空間分解能と誤差解析
P53	長友美保子(日本女子大理)、笠井康子(通総研)、白井知子(NASDA)、高橋千賀子(富士通FIP)、落合啓(通総研)、小尾欣一(日本女子大理)、塩谷雅人(京大宙空電波セ)、JEM/SMILES Science Team	JEM/SMILESによる成層圏BrOの観測
P54	星野創(東理大理)、笠井康子(通総研)、高橋けんし(名大STE研)、築山光一(東理大理)、高橋千賀子(富士通FIP)、落合啓(通総研)、塩谷雅人(京大宙空電波セ)、JEM/SMILES Science Team	JEM/SMILESによる成層圏オゾン同位体の観測